

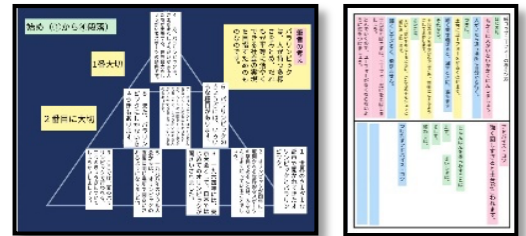
10月21日（金）のアイデア発表会では、熊本市立城東小学校の入江亮介先生による「使ってみましょう！思考ツール活用のアイデア」、そして山鹿市立山鹿小学校の井出愛子先生による「詩が作れた！また作ってみたい！どの学年でもできる詩を作るコツ」の2つの発表がありました。

**【城東小学校 入江先生のご実践から学ぶ】**

入江先生は、主に説明文の単元における思考ツールを用いた授業の展開についてお話しされました。

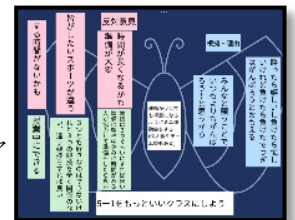
**①パラリンピックについて調べよう（要約）**

3年生の「パラリンピックについて調べよう」では、要約する力を育てる手立てとして、ピラミッドチャートを活用されました。始め・中・終わりのそれぞれのまとまりで、カード化された本文を並べ替えながら、大切な文を探していく活動をされています。



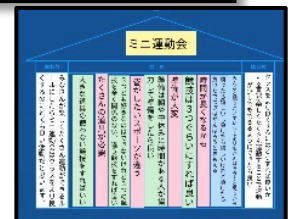
**②あそび方をせつ明しよう（説明的文章の記述）**

2年生の「あそび方をせつ明しよう」では、説明的文章を書く力を育てる手立てとして、2分割図を活用されています。文節カードの中から、説明するために必要な文節を上にかし、並べ替えることで文章を構築していく方法です。



**③反対の立場を考えて意見文を書こう（反対意見を考えた文章作成）**

5年生の「反対の立場を考えて意見文を書こう」では、2つの思考ツールが活用されていました。一つ目は、子どもたちが反論を考える際に活用されたバタフライチャートです。実践では「いいクラスするためにミニ運動会をしてはどうだろう」という考えに対し、「反論」「根拠・理由」「授業中にできそうな代案」の3つの観点から自分の考えをまとめていく活動をされています。二つ目は、実際に意見文を構成するために活用された家チャートです。バタフライチャートで出した自分の考えをもとに、カードを並べ替えて文章構成を考えていきます。「並べ替える」という活動が、文章を書く前段階でとても効果的であるということを感じました。



**④資料を見て考えたことを話そう（考えが明確になるように話す・資料と関係づけて話す）**

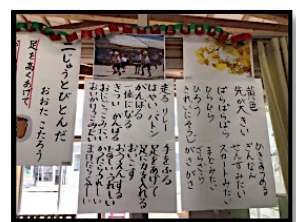
同じく5年生の「資料を見て考えたことを話そう」の実践では、食品ロスの問題をテーマとして授業が展開されていました。その中で、資料の読み取りを複数人同時で多面的に分析するマンダラ図。→分析したことをもとに自分の意見を構築するKWLチャート。→資料と分析、自分の意見をつなげ、論理的な文章構成を考えるピラミッドチャートと、段階的に思考ツールが活用されていました。

**【山鹿小学校 井出先生のご実践から学ぶ】**

井出先生からは、自分だけの詩を作る実践を例に、詩作りの授業の展開の工夫について発表いただきました。

**①詩を作る準備体操**

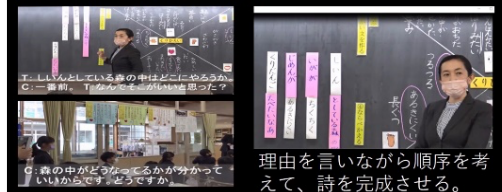
導入として、自然や学級の思い出の写真を子どもたちに見せ、思いつく言葉を全員で集め、掲示していました。そして、五感を使った言葉をマークで示すことで、どんな言葉を使って詩を作ればよいかの見通し立てを行いました。



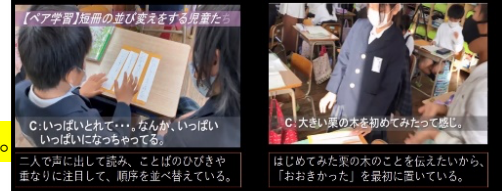
**②詩作り**

最初に個人で言葉集めを行いました。その際、子どもたちが思いを表しやすくなるよう、身近な体験であった「栗拾い」を題材として選んでいます。「言葉の分類図」という五感をマークで示したワークシートに言葉を書いていきました。集めた言葉の中から、ペアで4つの言葉を選んで詩の作成に臨んでいきます。そして、説明が足りない部分や、詳しく表した方がいい部分に付け加えをしながら話し合いと並べ替えを行い、詩を作成していきました。最後に、ペア学習を通して学んだことをもとに自分だけの詩を作り、「『はじめての詩』展」という形で鑑賞をし合いました。

**④並べ替える（モデルを示す）**



**④並べ替える（ペア学習）話し合って納得解を見つける**



操作性のある学習が子どもの高い意欲と深い学びを生み出すことを知ることができました。入江先生、井出先生、ご発表ありがとうございました。